藍サポートネットワーク 季刊誌

Ai Support Network magazine



藍サポ通信 〜明日に向かって〜

Vol.18 発行日 2015 年 10 月 25 日 社会福祉法人藍

大阪市平野区平野南 3-11-35

Tel (06) 6799 - 1065

有限会社 ひらの

大阪市平野区平野西 4 - 7 - 28

Tel (06) 6703 - 1711

発行責任者 保田 八十次

編集 藍サポートネットワーク広報委員会

http://ai-snet.com

藍サポ通信〜明日に向かって〜に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

「障がい」の記載について、藍サポ通信〜明日に向かって〜では「障がい」の記載方法を明確にするため、法律や公的に記載されているものを除いて「障がい」とひらがなで記載しています。法律名称や公的に漢字で記載されているものについては「ひらがなに変換せずに」そのまま記載しています。

活動報告

社会福祉法人藍くれよん・地域生活支援センターHIRANO くれよん

くれよんでは七夕に合わせて、大きな笹に折り紙で作った飾りやお願い事を書いた短冊を飾りました。いろいろなお願い事を書いた短冊をみんなの前で発表したり、職員がペープサートを使い、七夕物語を伝えると、子どもたちは興味津々で聞いてくれていましたよ。







また、夏にちなんで、夏祭りをしました。「お祭りビンゴラリー」をして、くれよん同士で交流し、遊びながらシールを集めてコンプリートを目指しました。

もぐらたたき、スマートボール、的入れ、バッティングなど 9 種類のゲームに参加して景品のお菓子をいっぱいもらい、ビンゴを完成させて嬉しそうにしている子どもたちや、ゲームの店番、かき氷の屋台を手伝う子供たちなど様々なことを楽しみながら子どもたちも交流をすることができました。







記事担当 米村・川村

活動報告 生活介護ひらの

9月10日(木)・11日(金)と今年はひらの南と西事業所の合同で姫路へ旅行に行ってきました~!! 近々まで台風が…とみんな心配していましたが台風も過ぎ去りみんな元気いっぱいで出発しました。 バスの中ではみんなハイテンションで盛り上がり新しくなった姫路城を横目に姫路市立水族館へ向かいました。

水族館では川の魚や海の魚を初めカメやペンギンを見たり、ドクターフィッシュに手をつつかれたり、 等身大才オサンショウウオの模型を触った感触に驚いたりしながらみなさん楽しまれていました。







1日目はそのまま夢乃井というホテルへ行き、大きなお風呂に入ったり美味しい食事を頂きました。 中にはお風呂を3回も入った方もいたり、お部屋でプロレスなどをして大はしゃぎの方たちや、お土 産選びにウキウキな方たちとそれぞれの時間を楽しまれていましたよ。

2日目はちょっと早起きして準備して寝起きドッキリ!!(笑)

意外にみんな起きていてドッキリにならず、何人かの方はお部屋に集まりコーヒーでまったりしてから朝食へ行き、寝起きにも関わらず美味しいおかずにご飯をおかわりする方たちが目立ちました。

2日目のメインは姫路セントラルパークです!!

バスの中から見えるライオンやトラ、キリンなどにテンションが上がっている方もいれば、動物の迫力に顔が強張っている方もいてリアクションはさまざまでした。

どこに行ってもお土産選びは楽しい様で、ここでは十分な時間はありませんでしたがお土産を購入し 1 泊 2 日の旅行はあっという間に終わってしまいました。

帰りの車内はみんな疲れている様子で、静か~にゆっくり過ごされていました。

一大イベントの旅行は終わってしまいましたが、今後も秋の味覚狩りや冬にはクリスマスなどまだまだ生活介護では色んなイベントが続きますのでお楽しみにしていて下さいね。







記事担当 梅田

活動報告 共同生活援助 藍

共同生活援助では利用者さん達が帰宅すると色々な会話が飛び交います。

楽しかった事、嬉しかった事、悲しかった事、会話の内容は様々です。利用者さんのそれ ぞれの声を聴きながら、時には相談ごとについてもそれぞれの思いを受け止められるよう、 出来るだけその日に話し合うように心掛けています。しかしながら、人の感情ですからなか なか解決できない事もあります。

最近、利用者さんが通われる生活介護に立ち寄る事があり、手造りハガキを造っている様子を見させていただくことがありました。牛乳パックをミキサーで粉々にし、粘土状になった紙繊維を伸ばしたり、紙漉きで出来たはがき大の再生紙にアイロンを掛けて完成させていいました。みなさん、普段では見られない真剣な表情だったり、スタッフさんとの会話も楽しそうだったり、それぞれの悩みや相談ごとを忘れているかのようで、ほっこりしたものを感じました。

人生には悲しむ事も笑う事も楽しむ事も休む事も沢山あります。悲しいからと泣いてばかりも元気なパワーが失われていきます。大切な事は"多様性"。色々な出来事を受け止め対話ややってみる事で、小さな幸せ"いいこと"が訪れてくるのではないでしょうか!

「ささやかな幸せを感じる為にも今の自分に何が出来るか、当たり前の努力を続ける事で幸せを感じ、又何かを信じ何かを心の支えとして信じる事も心穏やかに力強く生きていく為に大切である。」そう信じ、思う事で心に安寧、平安がもたらされるのではと思います。

記事担当 児玉

ヘルパー日誌

先日、重度訪問介護の利用者さんと近くの河川敷まで散策をしてきました。重度訪問介護の



支給決定を受けられる方は「重度の肢体不自由または重度の知的障もしくは精神障害により行動上著しい困難を有する障害者であって常時介護を要する方」が対象となっています。これからも分かるように、重度の障がいの方は行動が制限されることが多く、日常の生活においても在宅での過ごしが余儀なくされがちです。

今回は、ご家族同伴でその愛犬も連れての散策となりました。 小雨の降る天気ではありましたが、いつもと違った散策に ご自身もとても楽しまれていました。

わずかなことではありますが、非日常を味わうことは重度の 障がいの方にとって非常に大切なことだと思います。

記事担当 米本



くれよんでは、月交代でおやつ担当職員がおやつを作っています。くれよんで作っているおやつの レシピを厳選して紹介していきたいと思います。よかったらお家でも作ってみてくださいね。

今回は第1回ということでくれよんおやつランキングを発表したいと思います。

第1位 おこのみやき

第2位 たこやき

第3位 やきそば

第4位 フライドポテト

第5位 ギョーザ

第6位 からあげ

第7位 ホットケーキ

第8位 ポップコーン

第9位 コロッケ

第 10 位 フルーツポンチ

このほかにもいろいろな創作おやつがありますが、アレルギーのあるお子様や、苦手なおやつが食べられないお子様に配慮してスナックやゼリーなども用意しています。

次回から本格的にレシピを載せていきます。楽しみに待っていてくださいね。 記事担当 米村

藍サポートネットワークでは随時職員・ボランティアを募集しています。

経験の有無を問わず介護サービスに従事されることを希望される方は下記連絡先までご連絡下さい

社会福祉法人藍 大阪市平野区平野南 3 - 11 - 35

TEL (06) 6799 - 1065

有限会社 ひらの 大阪市平野区平野西4-7-28

TEL (06) 6703 - 1711

メールアドレス: asn@ ai-snet.com

フリースペース

季刊誌「藍サボ通信」に記事を投稿してみませんか?身近な事から皆さんのお役に立つ情報など幅広い記事を掲載したいと考えています。ご投稿頂いた記事は、フリースペースで紹介させていただきます。詳しくはお近くの 職員又は下記のメールアドレスまでご連絡下さい。

メールアドレス: asn@ ai-snet.com

ホームページでは藍サポートネットワークの様々な情報提供をしています。

当季刊誌もカラーでご覧いただくことが出来ます。また、季刊誌に掲載する事のできなかった記事・情報についても、 順次ホームページに掲載していきますので、是非ご活用下さい。

ホームページ: http://ai-snet.com または Google「藍サポートネットワーク」で検索